

## 輸送ヘリコプター(CH-101 8191号)の修理状況について

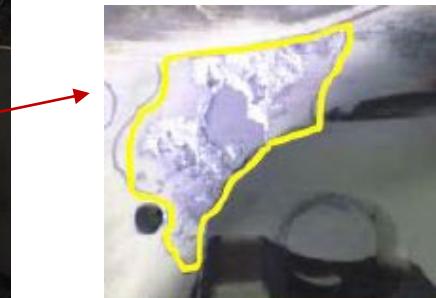
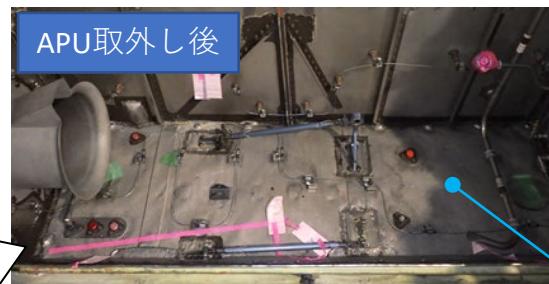
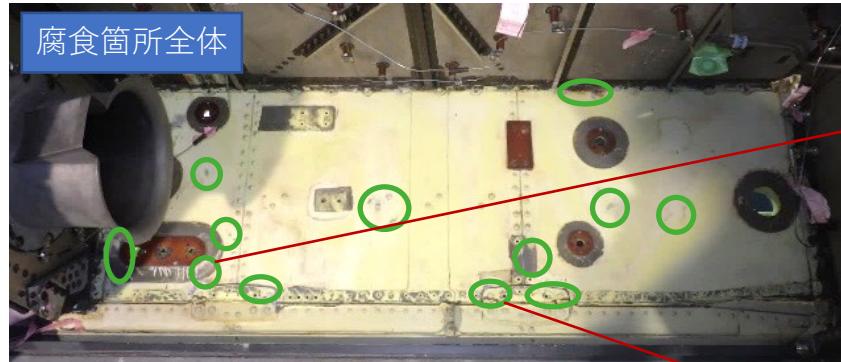
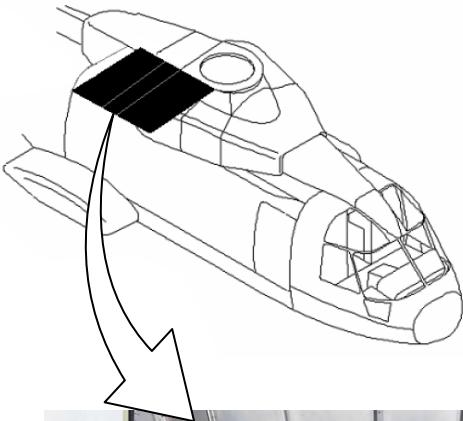
## 1 CH91号機の定期修理の状況

定期修理中に補助動力装置(APU)下の機体構造に多数の腐食が発見されたため、当初令和4年10月を予定していた定期修理完了時期が令和5年3月となる見込み。

## 2 修理予定

- (1)腐食除去・修理(～12月)  
 (2)定期修理再開(令和5年1月～3月)

## 【計画線表】



APU:Auxiliary Power Unit

飛行に必要な推進力を得るためのエンジンとは別に、電力や空調、エンジン始動用の空気力を供給するための小型のエンジン

## 1. 輸送用ヘリの現状と観測隊ヘリの物資輸送への活用について

- 輸送用ヘリCH-101(以下CH)については、2機で両機の飛行時間を調整しながら、輸送を中断等することなく安定して実施できていたところ、64次計画において、4年に1度の定期検査で機体の腐食が発見されたため、CHの搭載が2機から1機となった。
- このため、物資輸送及び観測支援に影響が出ないようCH1機の稼働率を最大限確保するために、2機分の交換部品を持ち込むなどの措置を講じる。
- なお、CH1機運用での不測の事態、緊急時には観測隊ヘリを物資輸送に活用する。

## 2. 観測計画への影響

- 64次にあっては、CH1機と観測隊ヘリ1機の2機体制で安全に観測を実施できる行動範囲での観測計画となるよう一部の計画を既に見直し。
- CHが故障等により稼働できなくなるリスクは例年より高くなるが、CH1機が安定して稼働すれば当初計画は実施可能。ただし、例年よりも観測計画の中止等の深刻な事態に陥りやすい状況下でのオペレーションとなる。
- CHの故障による運用終了、重整備による長期間の飛行停止等が発生した場合は、越冬観測の継続を最優先とし、他の観測計画の中止等の見直しを検討する。